

X 学部・学科別授業科目区分ごとの履修基準一覧（2024年度入学生用）

◎各学部の履修基準は、入学年度及び学科や専攻等により異なりますので、必ず所属学部の「学生便覧」で確認してください。

1. 文学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		初修外国語	10	
		日本語		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Aを履修することができる。
	国際理解科目		4	「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）	2			
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目		8		
小計		40		
学部 科目	専門科目		「専門基礎科目」2単位を含む、合計84単位以上を修得すること。	
	関連専門科目			
	専門基礎科目	2		
	小計			84
合計		124		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分	必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	「大学での学び」基礎論	1	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。 （在学年限(8年) - 3~4年次の年数(2年)） ③ 言語文化科目2単位の不足者に限り、仮進級を認める。 ④ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。
	基礎セミナー	2	
	言語文化科目	20	
	健康・スポーツ科学科目	4	
	データ科学科目	1	
	国際理解科目	2	
	現代教養科目		
	超学部セミナー		
	人文・社会系基礎科目	6	
	専門基礎科目	2	
計	38		

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、78 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 随意科目であり、卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	Ⅲ期	必修科目	
英語（上級リーディング）1	1 単位	Ⅲ期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
英語（上級リーディング）2	1 単位	Ⅳ期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期 3 年次 以上	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位			
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	Ⅱ期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	Ⅲ期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	Ⅳ期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1, 中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2, 初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件及び進級要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

2. 教育学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	
		初修外国語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Aを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）			
	超学部セミナー			
人文・社会系基礎科目	8			
小計		41		
学部 科目	専門科目	66	「専門基礎科目」18単位を含む、合計84単位以上を修得すること。	
	関連専門科目			
	専門基礎科目	18		
	小計	84		
合計		125		

(2) 進級要件単位数

教育学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。

ただし、履修上の制限がありますので、78 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期 3 年次 以上	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位			
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
【初修外国語】基礎1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級1、中級2として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎1及び基礎2の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎1、基礎2、初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

3. 法学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準		
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	12~14	日本国憲法，法学，政治学は必要単位に含めることができないので注意すること。		
	基礎セミナー				
	データ科学科目 講義				
	人文・社会系基礎科目				
	言語文化科目	英語	10	【一般学生】 英語10単位以上及び初修外国語（ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語）10単位以上を含む合計20-22単位を修得すること。 【外国人留学生】 日本語10単位以上及び英語又は初修外国語10単位以上を含む合計20-22単位を修得すること。	
		初修外国語	10		
		日本語	10		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	28		履修の際はデータ科学基礎演習Aを履修すること。 「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位以上を含む合計6-8単位取得すること。
		実習			
	データ科学科目	演習			
国際理解科目					
現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）		2			
超学部セミナー					
小計		40~42			
学部 科目	専門科目	82~84		関連専門科目で必要単位に含めることができるのは合計20単位までである。	
	関連専門科目				
	専門基礎科目				
合計		124			

(2) 進級要件単位数

法学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。

ただし、履修上の制限がありますので、78 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期 3 年次 以上	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位			
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1, 中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2, 初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 外国人留学生

日本語で必修科目 10 単位以上、及び英語又は初修外国語 10 単位以上を含む合計 20 単位以上が必要です。

4. 経済学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	【一般学生】 英語10単位以上、及び初修外国語で「多言語修得基礎」と一つの言語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）で9単位、合計19単位を修得すること。 【外国人留学生】 日本語10単位、及び英語又は初修外国語のうち1つの言語（母国語以外の言語）で9単位以上、合計19単位以上を修得すること。
		初修外国語	9	
		日本語	10	
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Aを履修すること。
	国際理解科目	2	4	イ 国際理解科目、現代教養科目（自然系及び学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。 ロ 現代教養科目（自然系及び学際・融合系）から2単位以上修得すること。
	現代教養科目（自然系）及び（学際・融合系）			
	超学部セミナー			
人文・社会系基礎科目	8			
小計	40			
学部科目	専門科目	32～	56	
	関連専門科目	0～		
	専門基礎科目	28		
	小計	84		
合計	124			

(2) 進級要件単位数

専門科目（必修）の「卒論研究」を履修するためには、卒論研究に入る学年の始めの時点で、全学教育科目の卒業要件単位40単位のうちから28単位以上、専門系科目のうちから演習Ⅰ、演習Ⅱ各2単位を含めて56単位以上、計84単位以上を修得していなければなりません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。

ただし、履修上の制限がありますので、78 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期 3 年次 以上	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位			
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目 9 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
多言語修得基礎	1 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 1	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	III 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	—	—	中級として読み替えることができます。
【初修外国語】中級 2	2 単位	—		
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2 を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件及び進級要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 外国人留学生

日本語で必修科目 10 単位、英語又は初修外国語で必修科目 9 単位が必要です。英語を選択した場合、卒業要件は 9 単位以上ですが、必修科目はすべて 2 単位であるため、実質 10 単位取得する必要があります。

5. 情報学部：自然情報学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Bを履修することができる。
	国際理解科目	4	国際理解科目、現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系） 超学部セミナー	
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18	① 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，計8単位を修得すること。 ② 「物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験」，「化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験」，「生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験」，「地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験」のうちから1組3科目，計6単位を修得すること。 ③ 上記②のうち，修得した組み合わせ以外の同一科目「基礎Ⅰ・Ⅱ」を1組とし，1組2科目，計4単位以上を修得すること。		
小計	41			
学部 科目	専門科目	42～	87 学部科目の詳細は，情報学部学生便覧で確認すること。	
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	87		
合計		128		

(2) 進級要件単位数

情報学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目はすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

6. 情報学部：人間・社会情報学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目として「データ科学基礎演習A」を履修することができる。
	国際理解科目	4	国際理解科目、現代教養科目（自然系及び学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。	
	現代教養科目（自然系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目	10			
自然系基礎科目	2	微分積分学Ⅰ又は線形代数学Ⅰを2単位以上修得すること。		
小計	40			
学部 科目	専門科目	42～	88 学部科目の詳細は、情報学部学生便覧で確認すること。	
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	88		
合計		128		

(2) 進級要件単位数

情報学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、78 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。
- (3) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111 ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 8 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期 3 年次以上	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位			
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1 言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1, 中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2, 初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

7. 情報学部：コンピュータ科学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Bを履修することができる。
	国際理解科目	4	国際理解科目、現代教養科目（人文・社会系及び学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。	
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18	① 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験を含む計14単位を修得すること。 ② 「化学基礎Ⅰ，化学基礎Ⅱ」，「生物学基礎Ⅰ，生物学基礎Ⅱ」及び「地球科学基礎Ⅰ，地球科学基礎Ⅱ」のうちから1組2科目，計4単位を修得すること。		
小計	41			
学部科目	専門科目	42～	87 学部科目の詳細は，情報学部学生便覧で確認すること。	
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	87		
合計	128			

(2) 進級要件単位数

情報学部には，「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目はすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

8. 理学部：数理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	14		・微積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論の合計10単位修得すること。 ・以下の科目から4単位以上修得すること。 電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	36			
学部科目	専門科目	80～72		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	16～24		
	小計	96		
合計		132		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、理学部対象以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められません。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

9. 理学部：物理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	22	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学基礎Ⅰ，電磁気学Ⅰ・Ⅱの合計6単位を修得すること。 ・以下の科目から合計16単位以上を修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験 ただし，微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論のうちから合計6単位以上を修得すること。		
小計	44			
学部科目	専門科目	64～55		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	19～28		
	小計	83		
合計		127		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において，20単位以上修得していること。 ただし，随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は，通算5年までとする。 （在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、理学部対象以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められません。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

10. 理学部：化学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20		・微積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論のうちから合計8単位以上を修得すること。 ・以下の科目から12単位以上修得すること。 電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	42			
学部科目	専門科目	50～47		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	34～37		
	小計	84		
合計		126		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、理学部対象以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められません。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

11. 理学部：生命理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	16		・以下の科目から16単位以上修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	38			
学部 科目	専門科目	66～62		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	20～24		
	小計	86		
合計		124		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、理学部対象以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められません。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次 以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

12. 理学部：地球惑星科学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18		・以下の科目から合計18単位以上修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	40			
学部科目	専門科目	68～45		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	20～43		
	小計	88		
合計		128		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、理学部対象以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められません。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

13. 医学部：医学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	4	基礎セミナーA, 基礎セミナーBを履修すること。	
	言語文化科目	英語	6	
		初修外国語	5	※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	12	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際理解科目」, 「現代教養科目（人文・社会系, 自然系及び学際・融合系）」及び「超学部セミナー」のうちから12単位を修得すること。ただし, 「現代教養科目（自然系）」は2単位を限度とする。 ・Ⅴ期およびⅦ期において, 各期2単位以上の修得を推奨する。 ・Ⅶ期に「超学部セミナー（医学研究ゼミ）」（2単位。3年次基礎医学セミナー終了後, 別途指示する手続きを経て, 引き続き当該講座／研究室で従事した研究活動を単位認定するもの。）を選択できる。 	
現代教養科目（人文・社会系）				
現代教養科目（自然系）				
現代教養科目（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	10	<ul style="list-style-type: none"> ・数学通論Ⅰ・Ⅱ, 物理学基礎Ⅰ・Ⅱ, 化学基礎Ⅰ・Ⅱ [各2単位]のうちから6単位, うち化学基礎Ⅰ・Ⅱのいずれかは必修 ・生物学基礎Ⅰ [2単位] ・物理学実験及び化学実験 [各2単位]のうちから2単位以上を含む計10単位以上を必要とする。 		
小計		44		
学部 科目	専門科目	166		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	0		
	小計	166		
合計		210		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等（編入学者を除く）
2年次終了時	2年次終了時において, 『全学教育科目』30単位以上を修得し, 『専門科目』の2年次までに開講される所定の全科目について履修認定を受けていること。	<ol style="list-style-type: none"> ① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は, 通算8年までとする。 （在学年限(12年) - 3~6年次の年数(4年)） ③ ②の通算8年に達しても進級できない者については除籍する。
3年次終了時	3年次終了時において, 『専門科目』の3年次までに開講されている所定の科目を全て修得していること。ただし, 所定の科目のうち1科目が不足している者に限っては, 進級を認めるものとするが, この場合, 全ての科目において履修認定を受けていることを必要とする。	<ol style="list-style-type: none"> ① 3年次に留める。 ② 3年次までの在学年数は, 通算9年までとする。 （在学年限(12年) - 4~6年次の年数(3年)） ③ ②の通算9年に達しても進級できない者については除籍する。
4年次終了時	4年次終了時において, 共用試験（CBT及び臨床実習前OSCE）に合格し, 4年次までに開講されている全ての『専門科目』について履修認定を受けて, さらにその科目のうち, PBLチュートリアル及び臨床医学総論の単位を修得していること。 なお, 1科目が不足した状態で4年次へ進級した者は, 上記条件に加え, 不足していた1科目の単位を修得していることが望ましい。	<ol style="list-style-type: none"> ① 4年次に留める。 ② 4年次までの在学年数は, 通算10年までとする。 （在学年限(12年) - 5~6年次の年数(2年)） ③ ②の通算10年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定, 緩和条件等は, 各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

特に「数学通論Ⅰ・Ⅱ」と「生物学基礎Ⅰ」は、開講対象学部が医学部医学科向けの科目のみ卒業要件単位として認められます。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目6単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（基礎）	2単位	Ⅰ期	随意科目	プレースメント・テストにおいてBコースとなった学生は履修を強く推奨します。卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（中級）	2単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（上級）	2単位	Ⅲ期	必修科目	
英語（セミナー）	2単位	Ⅳ期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期		
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	Ⅰ期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	Ⅱ期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	Ⅱ期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

14. 医学部：保健学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準			
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1				
	基礎セミナー	2				
	言語文化科目	英語	8			
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。		
		日本語				
	健康・スポーツ科学科目	講義	2			
		実習	2			
	データ科学科目	講義	1			
		演習	1	データ科学基礎演習A又はデータ科学基礎演習Bを履修すること。		
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。		
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）						
超学部セミナー						
自然系基礎科目		10	数学通論Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験のうちから10単位以上修得すること。			
小計		36				
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
学部科目	専門科目	68	65	76～78	69	71
	関連専門科目	0	0	0	0	0
	専門基礎科目	23	33	21～23	19	22
	小計	91	98	99	88	93
合計		127	134	135	124	129

(2) 進級要件単位数

医学部保健学科には、「進級制度」はありません。
ただし、3年次秋学期以降または4年次春学期以降の臨床（臨地）実習等を履修するためには、各専攻が定める履修条件を満たしていなければなりません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

15. 工学部：化学生命工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	22	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ，物理学実験の合計8単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。		
小 計		46		
学部科目	専 門 科 目	38		
	関 連 専 門 科 目	3		
	専 門 基 礎 科 目	46		
	小 計	87		
合 計		133		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

16. 工学部：物理工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。		
小 計	48			
学部科目	専 門 科 目	49		
	関 連 専 門 科 目	4		
	専 門 基 礎 科 目	31		
	小 計	84		
合 計		132		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

17.工学部：マテリアル工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。		
小 計	48			
学部科目	専 門 科 目	41		
	関 連 専 門 科 目	1		
	専 門 基 礎 科 目	45		
	小 計	87		
合 計		135		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

18.工学部：電気電子情報工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。		
小 計	48			
学部科目	専 門 科 目	45		
	関 連 専 門 科 目	4		
	専 門 基 礎 科 目	38		
	小 計	87		
合 計		135		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい））から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2024年度入学生用)

2023年度入学者は「2023 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

19. 工学部：機械・航空宇宙工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論の合計10単位を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱの合計4単位を修得すること。		
小 計		48		
学部科目	専 門 科 目	37		
	関 連 専 門 科 目	3		
	専 門 基 礎 科 目	49.5		
	小 計	89.5		
合 計		137.5		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい））から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

20.工学部：エネルギー理工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。		
小 計	48			
学部科目	専 門 科 目	34		
	関 連 専 門 科 目	4		
	専 門 基 礎 科 目	47		
	小 計	85		
合 計		133		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

21.工学部：環境土木・建築学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20	数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ，物理学実験の合計8単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱの合計4単位を修得すること。		
小計	44			
		環境土木工学プログラム	建築学プログラム	
学部科目	専門科目	46	47	
	関連専門科目	5	8	
	専門基礎科目	37	33	
	小計	88	88	
合計		132	132	

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，上記の卒業に必要な科目のうちから物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限(8年) - 3~4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

22. 農学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学 教育 科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	詳細は次ページを参照のこと。
		初修外国語	6	次のうち一つの言語で合計6単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 詳細は次ページを参照のこと。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
	健康・スポーツ 科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	4	6	「現代教養科目（人文・社会系）」4単位を含む6単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）			
現代教養科目（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20	生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ、微分積分学Ⅰ、線形代数学Ⅰを修得し、生物学実験、化学実験、物理学実験の中から2科目以上修得し、合計20単位以上を修得すること。		
小計	49			
学部 科目	専門基礎科目	40	生物環境科学科および資源生物科学科 「専門基礎科目」のうち、必修科目40単位を修得すること。 応用生命科学科 「専門基礎科目」のうち、必修科目36単位、選択必修科目4単位以上を修得すること。	
	専門科目	45	「専門科目」のうち、必修科目22単位（生物環境科学科、応用生命科学科）または24単位（資源生物科学科）＋選択必修科目23単位以上（生物環境科学科、応用生命科学科）または21単位以上（資源生物科学科）を修得すること。 なお、詳細は農学部学生便覧で必ず確認すること。	
	小計	85		
合計	134			

【備考】農学部特別講義の単位認定は、上限6単位とする。

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	2年次終了時において、68単位以上修得していること。 ただし、68単位の中に全学教育科目を42単位以上含んでいること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。 （在学年限(8年) - 3~4年次の年数(2年)） ただし、休学期間は通算期間に含めない。 ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。
3年次終了時	3年次終了時において、108単位以上修得していること。 ただし、108単位（注）の中に言語文化科目14単位、専門基礎科目（生命農学序説、生物化学1、無機化学、有機化学1を含む）24単位以上および実験実習（基盤実験実習を含む）8単位を含んでいること。	① 3年次に留める。 ② 3年次までの在学年数は、通算7年までとする。 （在学年限(8年) - 4年次の年数(1年)） ただし、休学期間は通算期間に含めない。 ③ ②の通算7年に達しても進級できない者については除籍する。

（注）ここでいう108単位は、進級判定年次における修得単位数のうち、卒業要件単位数の科目区分ごとの必要単位数を上限として集計する。超えた分については、108単位に計上されない。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、111 ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 8 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期		
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 6 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級 1	2 単位	—		
【初修外国語】中級 2	2 単位	—		
【初修外国語】上級	2 単位	—		

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、91 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。